

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 25 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '中小企業事業資金保証料及び利子補給助成事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the business review process and administrative tasks.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 26-30 years.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts (事業費) and personnel costs (人件費) for 26-30 years, including a breakdown by source (国庫, 県, 市).

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of business costs) for 27 and 28 years, including a total row.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns for 28, 29, and 30 years of implementation content, detailing the use of funds for business improvement.

事務事業名	中小企業事業資金保証料及び利子補給助成事業	事務事業No.	50202000530	所属課	商工観光課
-------	-----------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
昭和28年から茨城県内の商工政策の一環として、市町村内の中小企業の発展に寄与するために、県・市町村・金融機関、及び保証協会が連携して設立された。 震災に伴う県の融資制度により利用減少の状況だったが、25年度に自治金融の融資枠が拡大されたことにより利用者が激増したことに伴い、25年度の申請額は約3200万円となったため、予算を大幅に超過したことから50%に按分して助成した。 利用者は3年程度で借換を行う傾向があることから、平成28年度前後に再びニーズが高まる可能性がある。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
申請者に助成の条件として市税等の完納(基準日3月31日)を求めているため、未納者に対しては不交付の決定を行っているが、25年度不交付決定を行った申請者(市税を分納中)の一人から苦情が寄せられた。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
	事務の効率化について、検討する必要がある。 申請者の使用料・税金等の完納を確認する基準日が年度末であり、事務の煩雑化の原因と考えられるため規則の改正を含めて検討が必要。 事務のマニュアルも必要。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	本事業により、市内商工業者の金融負担を軽減することは、地域商工業者の経営基盤の強化という政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	本事業の目的である『地域商工業者の経営基盤の強化』は桜川市の基本計画に規定されており、市が行う事業として妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	事業者への周知とともに、融資を実施する金融機関に制度を周知することで融資利用者の増加余地はある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	廃止すると市内中小企業者が低金利で融資を受けることができず、経営悪化や市内商工業の衰退につながるおそれがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	制度・事務の簡素化により、職員の事務量(人件費)を削減する余地がある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益機会は公平であり、受益負担は生じない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	平成27年度も会計手続きである申請者の振込口座等には注意を払い、慎重に返戻処理を進めた。 自治金融における運転資金借入枠の拡大により、利用が激増したことに伴い、申請額も前年度を上まわった。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 商工会と市担当者との事務の効率化について協議が必要である。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			X	低下			X
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持			X																				
	低下			X																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>